

バナナシュート裁判 (1989)

メディア 映画

ジャンル 青春 ドラマ

製作国 日本

色彩 Color

時間 82分

初公開日 1989/03/25

【解説】

佐藤闘介が脚本（伊藤暢幸と共同）・監督を務めた青春映画。

保坂福男、小坂橋広美、桑原和比古の三人は群馬県高崎市の公立高校に通っている。高校三年の秋になっても進路も決まらず、日々をただ何となく生きていた。だが猪子想次郎という中年男に出会ったことから、三人の生き方は少しずつ変化を見せるのだった。想次郎は夢に生きる四十歳で、ボールのないサッカーを楽しみ、ついには一人で中南米へ旅立っていった。自由に生きる想次郎に感化され都会に出た三人だったが、理想と現実の壁は厚かった。そんな中、広美がストリッパーとして生きていく決意をし、福男と和比古はショックを受ける。また中南米へ行ったはずの想次郎が、実は高崎にいたことを知り…。

【クレジット】

監督 佐藤闘介

制作 宮川洋紀

伊藤正昭

脚本 佐藤闘介

伊藤暢幸

撮影 浜口知俊

林民夫

美術 古谷伸二

編集 深野俊英

門司康子

出演 油井昌由樹

原浩之

河野牧子

入江達也

木下浩

峯好浩

川上やすお

澤純子